平成21年度大学院総合人間自然科学研究科農学専攻修士論文発表会日程

NO	場所 日時	氏名(発表者)	研究題目:論文題目	審査委員		/ # 李
NO				主査(1名)	副査(2名以上)	備考
1	農学部5-4教室 2月19日(金) 13:10~15:10	アカギ コウスケ 赤木 浩介	水稲品種におけるシンクサイズ、登熟歩合および収量性の穂肥窒素に対する反応の品種間差異 一特に中国産多収性品種に着目して一	山本 由徳	吉田 徹志宮崎 彰	
2		^{イチカワ タケシ} 市川 剛士	カキの雄花と雌花の花芽形成の要因解明とその制御	尾形 凡生	島崎 一彦 濱田 和俊	
3		オガワ コウヘイ 小川 浩平	イエバエ(ハエ目:イエバエ科)に寄生する土着寄生蜂ハエヤドリコガネコバチ(ハチ目:コガネコバチ科)の生物的防除資材としての実用化に関する研究	荒川 良	森 牧人 福田 達哉	
4		コハ ^{*ヤシ デッヤ} 小林 徹也	ウコン属植物の根茎収量およびクルクミン蓄積に関する栽培生理学的研究	山本 由徳	宮崎 彰吉田 徹志	
5		ワッナベ アキュキ 渡部 晃由起	施設園芸における省エネルギー環境緩和システムの構築	石川 勝美	安武 大輔 宮内 樹代史	
1		ウサミ アッシ 宇佐美 敦	嶺北フィールドにおけるオサムシの生態	塚本 次郎	市栄 智明 福田 達哉	
2		カナシゲ コウタロウ 金重 光太朗	樹脂製織條素材と透湿防水シートを使用したチップの乾燥実験	後藤 純一	鈴木 保志 藤原 新二	
3	## ## en ##	サカグチ マリ 坂口 麻理	マレーシア低地熱帯雨林におけるフタバガキ科巨大高木の木部構造と環境要因の関係	市栄 智明	塚本 次郎 藤原 新二	
4		セシモ マサヤ 瀬下 雅也	山岳林における路網を活用した作業システムの能率	後藤 純一	鈴木 保志 松岡 真如	
5	農学部1-1教室 2月19日(金) 8:55~12:05	タカヤマ マサル 髙山 将	疎水性機能材料含有高分子膜の紙表面上への直接合成	市浦 英明	大谷 慶人 藤原 新二	
6		9th サトシ 田中 慧	エネルギー利用のためのスギ丸太の自然乾燥実験	後藤 純一	鈴木 保志 藤原 新二	
7		tラタ アヤ 平田 亜也	コバノハナイカダの繁殖戦略	福田 達哉	市栄 智明 塚本 次郎	
8		^{ムラマツ} ユウコ 村松 優子	テンナンショウ属植物における形態学的及び生態学的研究	福田 達哉	市栄 智明 塚本 次郎	
9		ヤマウチ ユウコ 山内 優子	高知県における国産木造住宅建築への寄与要因と普及に関する研究	藤原新二	古川 泰 松本 美香	
1		イタバ タカヨシ 板場 貴幹	水生生物に対する砂防堰提の影響	関 伸吾	山岡 耕作 中村 洋平	
2		オカラミ タクマ 岡見 卓馬	ウィルス由来プロモーターを用いた有用および有毒海産珪藻の高効率な形質転換系の開発	足立 真佐雄	山口 晴生 川合 研兒	
3		オグリ ソウスケ 小栗 聡介	トノサマダイ稚魚期におけるイシサンゴ類への加入機構	山岡 耕作	関 伸吾中村 洋平田田 慶昇	
4		*ハラ チカ 木原 智香	宗田節エキスによるマスト細胞脱顆粒抑制効果について	大谷 和弘	山岡 耕作 諸岡 慶昇	
5		^{キラ} バム 吉良 望	麻痺性貝毒原因藻 Alexandrium tamarense のプロモーターの分離とそれを用いた形質転換系の開発	足立 真佐雄	山口 晴生 川合 研兒	
6		サイトウ ユウコ 齊藤 祐子	リアルタイムPCRによる有害ラフィド藻 Chattonella 属培養シストの核酸定量に関する研究	足立 真佐雄	山口 晴生 川合 研兒	
7	農学部4-1-13教室 2月18日(木)	が30 がイシ 田所 大二	ブリ用大豆油粕高配合飼料へのコレステロールおよびウシ胆汁粉末添加が成長へ与える影響	深田陽久	益本 俊郎 森岡 克司	
8	8:50~17:00	分为 为ズ ^ュ キ 田中 一幸	アブラソコムツ晒肉の加熱ゲルにおける坐り効果への TGase による架橋結合と SS 結合の関与	森岡 克司	川合 研見 足立 亨介	
9		⊬/ ユキト 土井 征斗	養殖ブリ類血合肉のメト化による褐変に及ぼす絶食と致死条件の影響	森岡 克司	深田 陽久 足立 亨介	
10		/だ ュウ 速水 悠	スギノキミドリイシ (Acropora muricata) が分泌する粘液ムチンの化学的研究とサンゴ礁魚類への誘引効果	大谷 和弘	康 峪梅新保 輝幸	
11		ッカモト ヨウイテ 福本 陽一	ブリノカルジア症の実験感染法と治療に関する研究	川合 研兒	大島 俊一郎 吉富 文司	
12		^{フクヤマ} ケンシ 福山 健司	魚肉すり身の加熱によるゲル化に及ぼす脂質の影響	森岡 克司	深田 陽久 足立 亨介	
13		711/5年 外比□ 古谷 尚大	ブリの消化管ホルモンに関する研究	深田陽久	益本 俊郎 森岡 克司	
14		ョシマツ タカラチ 吉松 孝倫	赤潮ブランクトン現場個体群のフォスファターゼ発現の消長	足立 真佐雄	山口 晴生 川合 研兒	

1	農学部5-2教室 2月18日(木) 9:00~12:00	ウチダ ケンイチロウ 内田 健一朗	既設RC開水路の中性化に関する研究	佐藤 周之	松本 伸介 齋 幸治 藤澤 健一*	
2		ォガワ ヒロキ 小川 陽公	環境配慮型混和材の開発に関する実験的研究	松本 伸介	篠 和夫 佐藤 周之	
3		が シュウff 尾田 修一	都市ごみ焼却残渣に含まれる1.4-ジオキサンの溶出・吸着特性とその処理に関する基礎的研究	藤原 拓	大年 邦雄 齋 幸治	
4		スキ ⁽ モト リョウ 杉本 克	物理環境の変化が物部川に生息する水生昆虫に与える影響に関する研究	紙井 泰典	松本 伸介 大年 邦雄	
5		タカハシ ケンシ 髙橋 賢司	感潮河川の改修工事が地下水への塩水侵入に及ぼす影響に関する数値解析的研究	大年 邦雄	藤原 拓 紙井 泰典	
6		ヤマサキ カスブノリ 山崎 一範	ベトナムのエビ養殖池周辺における環境汚染の実態とその対策に関する研究	宗景 志浩	吉田 徹志 笹原 克夫	
7		キマサキ シュウタロウ 山﨑 周太郎	農業用コンクリート水路の摩耗に関する研究	佐藤 周之	松本 伸介 齋 幸治 藤澤 健一*	
1		カカモト カイリ 岡本 海里	水耕栽培したコセンダングサの根における鉛の蓄積	岩崎 貢三	吉田 徹志 康 峪梅	
2		コモリ ダイスケ 小森 大輔	病原細菌感染タバコ植物におけるアスパラギンリッチタンパク質を介した過敏感細胞死の制御機構の解明	曵地 康史	木場 章範 大西 浩平	
3	農学部5-1教室	シバ ノプタケ 芝 伸健	Ralstonia solanacearum の病原性関連遺伝子のトランスクリプトーム解析技術の開発	曵地 康史	木場 章範 大西 浩平	
4		スキ'ハラ ミュキ 杉原 幸	中国内蒙古自治区シリンゴル盟における草原退化に伴う土壌と植生の変化	康 峪梅	櫻井 克年 田中 壮太	
5		yン ゲン 孫 源	Antifeedants against Thrips palmi from Solidago altissima	金 哲史	岩崎 貢三 柏木 丈拡	
6		9th マサユキ 田中 将之	Pseudomonas cichorii の病原性に、aldehyde dehydrogenase 遺伝子と phosphinothricin N-acetyltransferase 遺伝子が関与する	曵地 康史	木場 章範 大西 浩平	
7		th't shilt 長瀬 貴幸	ビタミンB6分解経路調節タンパク質 PyrR に関する研究	八木 年晴	受田 浩之 大西 浩平	
8	2月18日(木) 8:55~12:10	th th から 仲本 健二	インドネシア・中央カリマンタン州カハヤン川河畔の焼畑農村における土地利用に関する土壌学的評価	田中 壮太	櫻井 克年 康 峪梅	
9	2月19日(金) 9:00∼12:15	=シナ タウロウ 仁科 拓朗	Pesticide residues in soils, sediments, and vegetables in the Red River Delta, northern Vietnam	岩崎 貢三	田中 壮太手林 慎一	
10		=シン カナ 西野 華菜	ワタアブラムシの寄主転換に関する化学生態学的研究	金 哲史	岩崎 貢三 柏木 丈拡	
11		ハラダ ュウト 原田 裕人	マレーシア・サラワク州バタンアイ地域におけるイバン人の土地利用と土壌肥沃度	田中 壮太	櫻井 克年 康 峪梅	
12		taウドウ イッセイ 兵頭 一星	バイオ燃料に有用な微生物の探索	永田 信治	大西 浩平 村松 久司	
13		^{フクシマ} ケンゾウ 福島 賢三	ポリーァーグルタミン酸のバイオプラスチック化に関する基礎研究	芦内 誠	大西 浩平 永田 信治	
14		堀 夏子	GC-MSによるカンキツ精油のエナンチオマー分析に関する研究	受田 浩之	金 哲史 柏木 丈拡	
15		ョシモト コウシ 吉本 康司	水稲品種における形質的特性と白未熟粒発生の関係	吉田 徹志	岩崎 貢三 宮崎 彰	
16		クリ ウルラ MD. WALI ULLAH	Phylogenic analysis of Asteraceae plants and pathogenicity of Pseudomonas cichorii on the plants	曵地 康史	木場 章範 大西 浩平	